

## 平成25年度予算案について

(H25.02.07記者発表)

私にとりましては、今任期後半への折り返しとなる平成25年度の各会計予算案がまとまりましたので、その概要についてご説明申し上げます。

平成25年度予算編成の基本的考えとしては、安定した財政基盤の構築を図りながら、当市のまちの特性や資源を生かし、選択と集中による効率的な事業の展開に取り組むこととしたところであります。

財政の標準的なあるべき姿を定めた「財政標準化計画」をもとに、収支バランスを維持し、公債費の抑制などに努めるとともに、第6期総合計画の推進と、マニフェストでお約束した公約の着実な実施を図り、「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現に向けて、編成を行ったところであります。



編成に当たっては、第6期総合計画に掲げた6つのまちづくり基本目標に沿って、「活力」と「安心」の2つを柱とし、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5項目を重点施策として位置づけ、社会保障関係費を確実に措置しながら、現下の厳しい景気・雇用情勢を踏まえ、国の緊急経済対策に呼応した「緊急経済対策」も盛り込み、当市が有する「まち」と「ひと」の「ちから」で、限りない発展と成長を目指し、今年の一字を取りまして「輝く未来へ“飛翔”予算」として、取りまとめたところであります。

予算の概要であります。 「(仮称)鉄南地区子育て総合支援センター整備事業」では、26年1月の開設に向けた整備を進め、「スポーツセンターリニューアル事業」、「支笏湖温泉開発事業」などを継続して実施するほか、新たに「千歳サケのふるさと館リニューアル事業」、「国指定史跡整備事業」、「養護老人ホーム千寿園移転整備事業」、「防犯灯LED化促進事業」などに着手します。



また、市税などの収納対策では、26年度の導入に向けた「コンビニ収納事業」に着手し、市民病院では、内科系医師を3名増員するとともに、7月から『助産外来』を開設し、診療体制の充実を図ります。

これらの実施に伴い、マニフェストに掲げた58項目のすべてが着手済みとなります。

予算額としては、一般会計で、426億9千2百万円となり、前年度比で、5億6千5百万円の増となっております。

特別会計の合計額では、140億1千6百万円となり、前年度比で、8億6百万円の増となりました。

これに公営企業会計を加えた総体額で、700億8千4百万円の規模として取りまとめたところであります。

なお、平成25年度の重点施策につきましては、第三期重点施策の「重点施策の体系」にありますように、5項目に対して63の細事業を位置付け、千歳市の持続ある発展のため、重点的に取り組んでまいります。

この予算案につきましては、3月1日に開会予定の第1回定例市議会に提案してまいりたいと考えております。